

令和7年11月20日（木曜日）

玖珠町立くす星翔中学校 安部 魁斗先生の授業です。

授業の単元は、第1学年「比例と反比例」。具体的な事象の中の数量の関係を表、式、グラフで表したり、その表、式、グラフを使って数量を求めたりすることを通して、比例や反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現する場面です。

導入では、前時までの学習内容である比例と反比例についての表、式、グラフについて振り返り、表は比例、反比例の変化や対応の特徴を捉えやすいことなど、それぞれの特徴について確認するとともに、板書に位置付け、本時の課題解決に向けた手立てを示すなどの工夫がなされていました。

また、個人思考の際に「努力を要する状況」にある生徒への手立ての一つとして、学習支援アプリを活用し、各自の端末で授業者が作成した解説動画などを見ることができるようにするなど、それぞれの生徒が自分に合った学習方法を選択することができるよう工夫がなされていました。

終末の段階では、本時で大切にしたい考え方などを生徒に発言させ、生徒の考えを基に授業のまとめに位置付けていきました。

事後研では、比例と反比例について、小学校算数や小学校理科で学習をしてきていることから、より効果的な授業を展開するためには、教師が教科の系統性や教科横断的な視点をもつことで、より深い理解につなげることができることや生徒の思考の流れに沿った授業をイメージすることの大切さ等について確認しました。

安部先生は、一人でも多くの生徒に数学の魅力が伝えられるよう日々の授業に取り組んでいるそうです。今後も、生徒一人一人が自身の状況に合った学習が進められるような授業づくりに尽力してほしいと思います。

